



山々亭有人作

一陽齋豊国画

二編下

葛吉板

御所玉賀池

三編上



御所玉賀池  
舟歌

編上

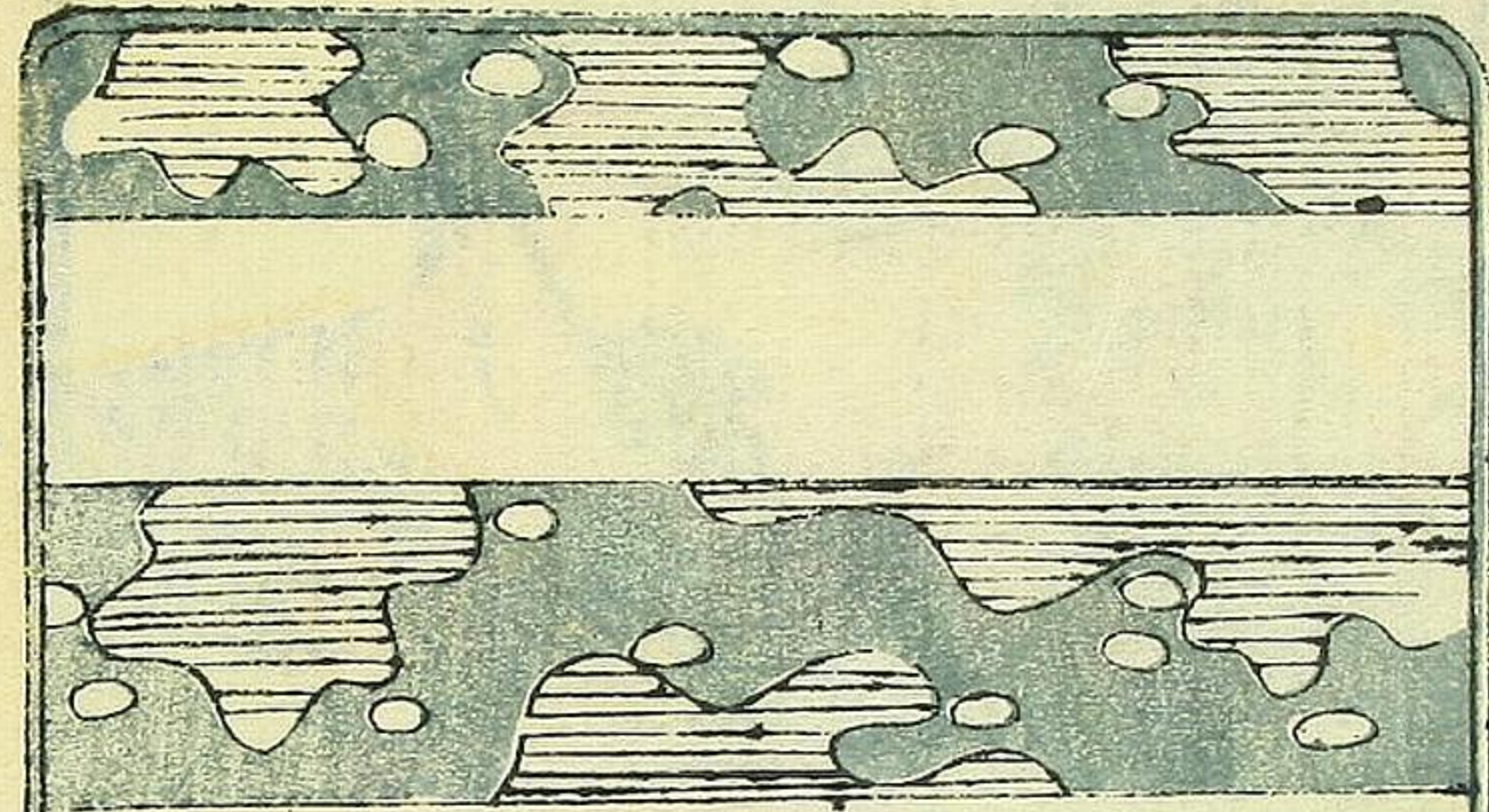
10

15

20

25

A44  
2



阿玉ヶ池  
櫛月形

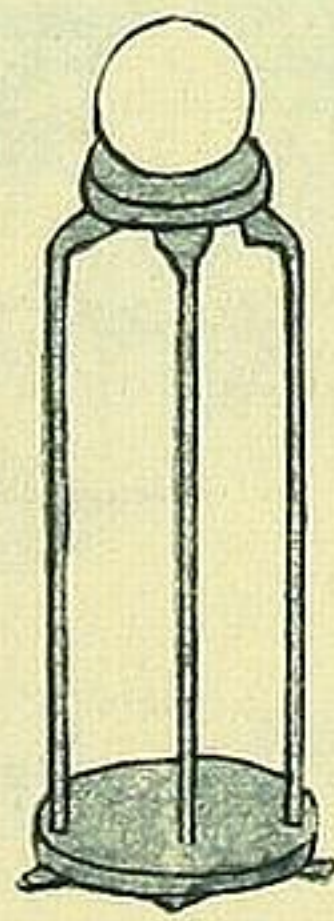
上の巻

山と亭主人伝  
一陽高豊園画

<48-8278>



夜光いづばらに下室よ  
埋るも時ゆりてハ  
名玉の透ふ光を露とよ  
及べり茲よ山々亭の主人あり年来阿玉が外傳を  
腹藁とく久しうし語も残る夏ありたりや  
書肆紅英堂所知りて請ふ梓ふ上せしう忽地  
四方小輝ける夏彼の夜光ふも弥増せり今某  
二輯を編ふ至りて予をて題辞せしと既  
巻を開けるや文中奇とる夏多し因て聊  
數言を吐きりて此冊子の榮へ祝しつ



夜光の玉

乙亥の春

戲墨堂春水誌る

月希久



掃子ハコの慶ウレシ名ナ輝ヒ

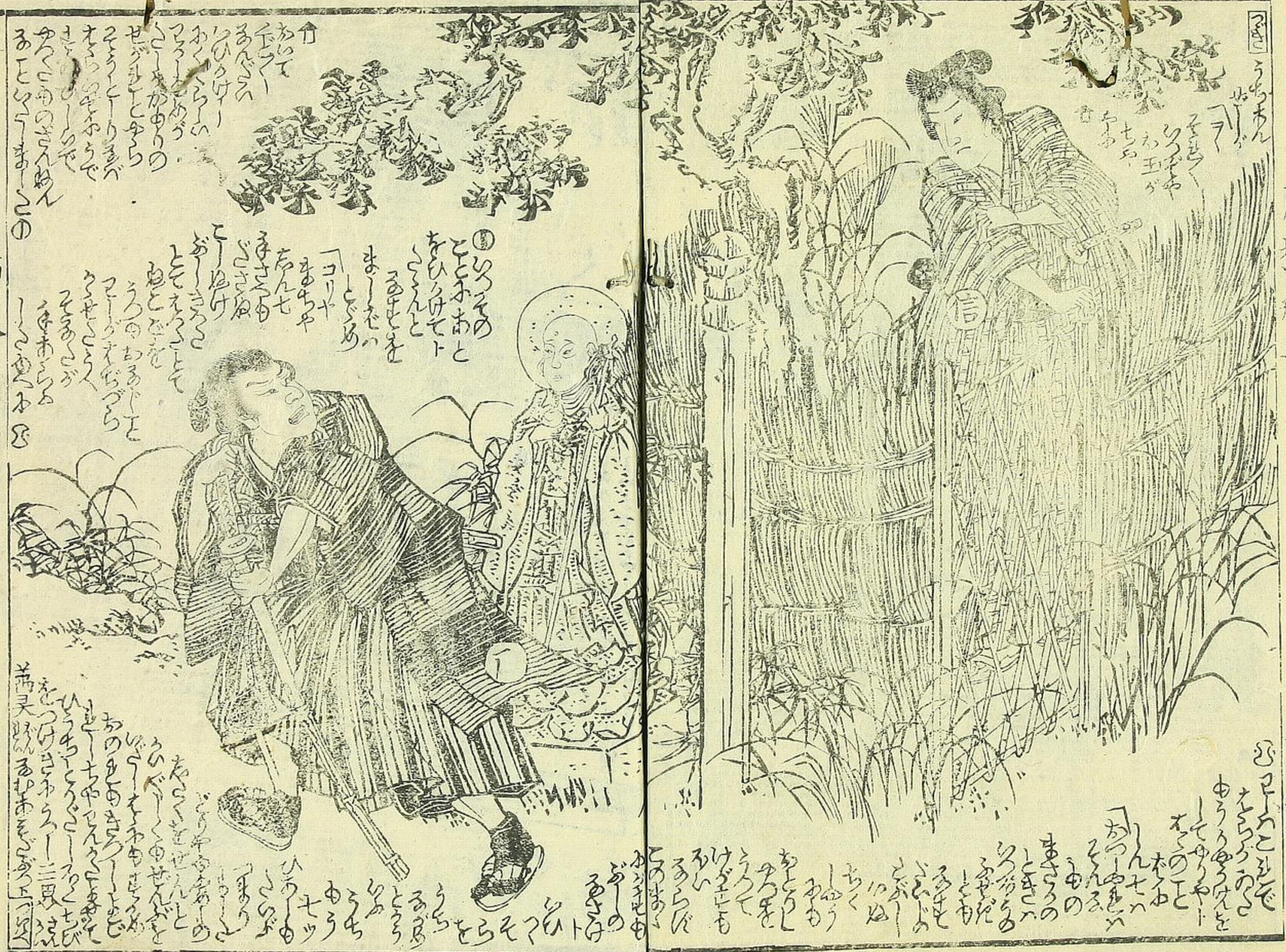
外ウチ村ムラ信ノブ七シチ親チカ慶ウレシ

阿ア王ヲウ公キミ亡ナシ妻メ

月ツキ桂ケイ开キ二ニ

月ツキ桂ケイ开キ二ニ





うらやま

うらやま  
お玉が  
七つ  
お玉が

うらやま  
お玉が  
七つ  
お玉が

うらやま

うらやま  
お玉が  
七つ  
お玉が

うらやま  
お玉が  
七つ  
お玉が

うらやま  
お玉が  
七つ  
お玉が

うらやま  
お玉が  
七つ  
お玉が

うらやま  
お玉が  
七つ  
お玉が

うらやま  
お玉が  
七つ  
お玉が

月節

月節















明治七年甲戌陽春開板標目

厚化粧萬年鳩田

十編 春水作  
國貞画

室町源氏胡蝶卷

十編 三種彦作  
國貞画

鼠祠通夜譚

八編 極彦作  
國貞画

童謡妙々車

二十五種彦作  
國貞画

薄倂幼日記

十編 春水作  
國貞画

七幼草節譚

十編 極彦作  
國貞画

新島九尾傳

十三編 春水作  
國貞画

筆海四國聞書

十三編 三種彦作  
國貞画

明鴉墨画酒齋稿

十五編 極彦作  
國貞画

花封卷玉章

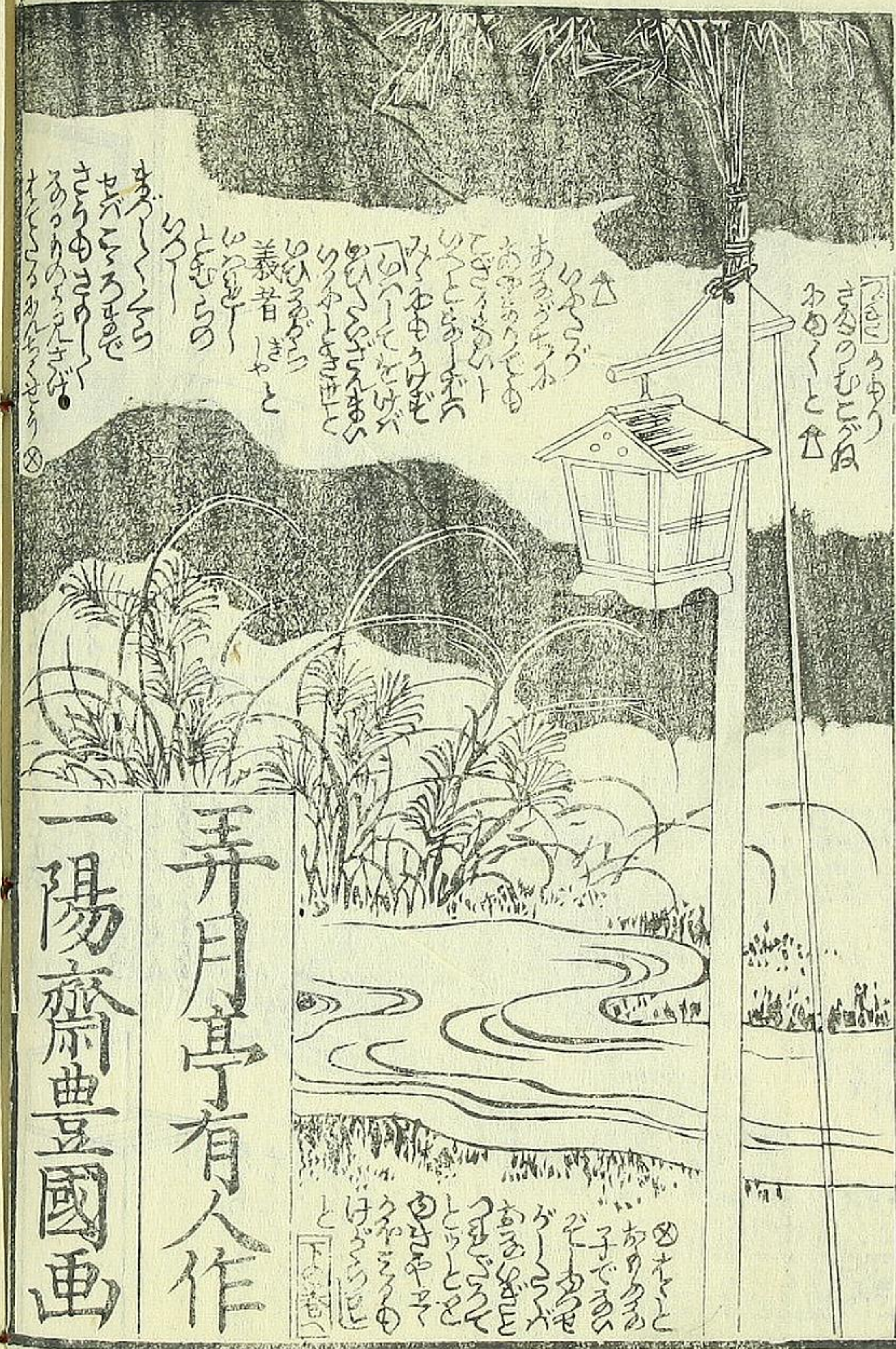
十編 三種彦作  
國貞画

八犬傳大の取紙

十五編 春水作  
國貞画

葛屋古藏板

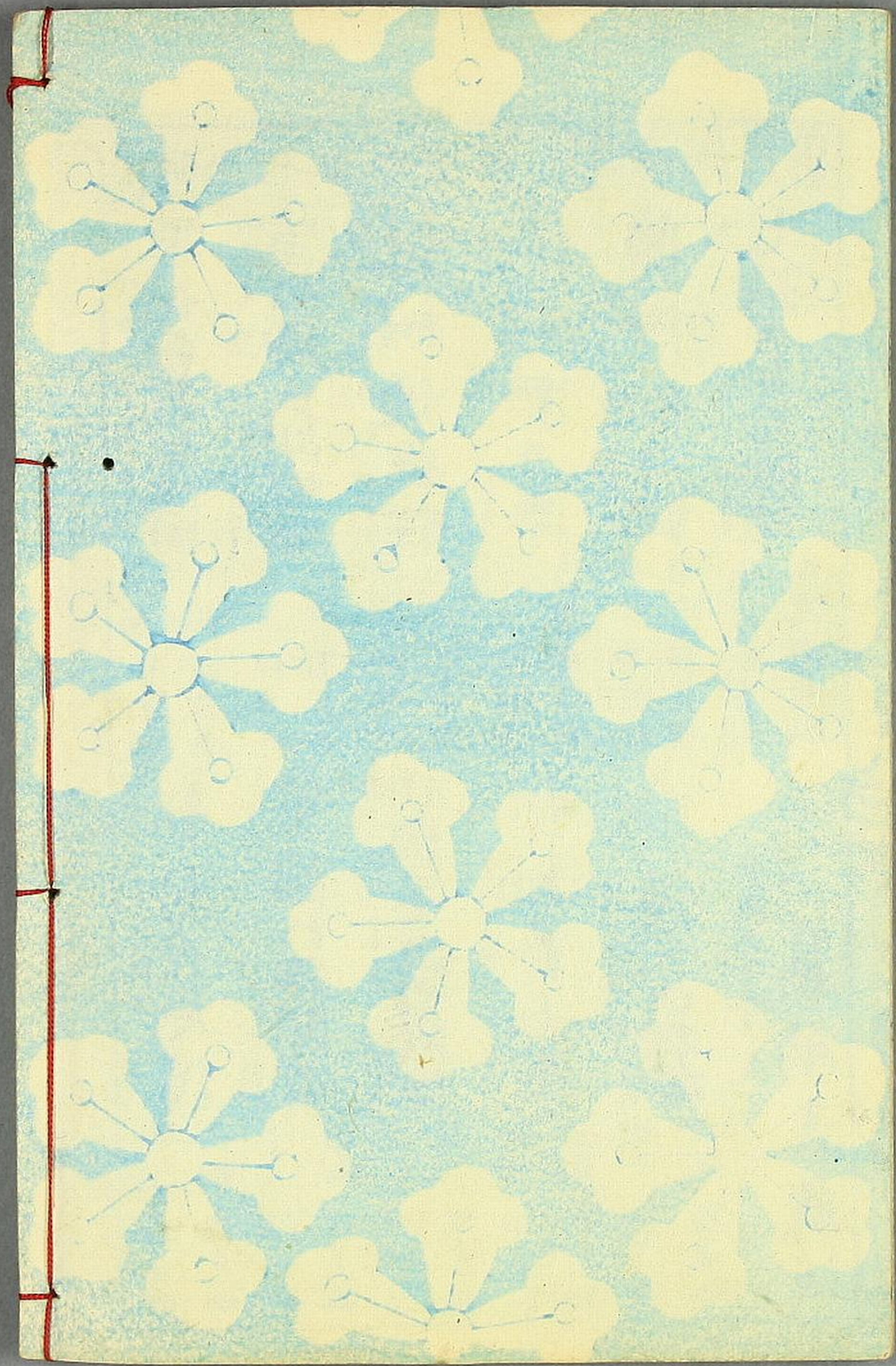
南傳馬町堂一門



弄月亭有人作  
一陽齋曲豆國画

月繪形

十





山々亭有人作

一陽齋豊国画

二編下

葛吉板





Mani-  
Havag  
Natake  
Mikihana



Mani-  
Havag  
Natake  
Mikihana

Mani-  
Havag  
Natake  
Mikihana

Mani-  
Havag  
Natake  
Mikihana



Mani-  
Havag  
Natake  
Mikihana

Mani-  
Havag  
Natake  
Mikihana

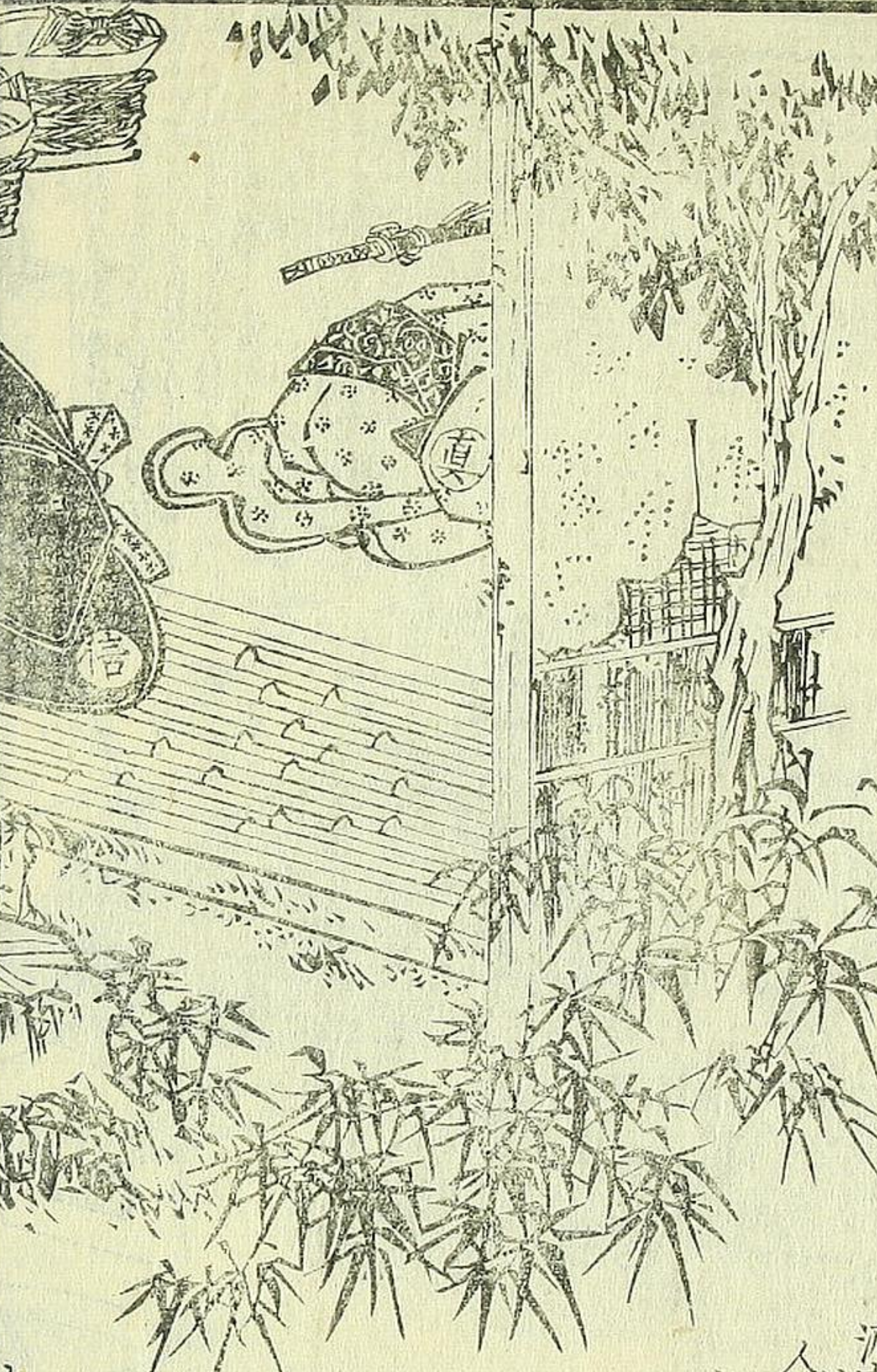
Mani-  
Havag  
Natake  
Mikihana



此の如くは、昔の風俗の  
影を写したるものなり  
其の趣意を、今に傳へ  
しむるは、亦た其の  
一也

此の如くは、昔の風俗の  
影を写したるものなり  
其の趣意を、今に傳へ  
しむるは、亦た其の  
一也

此の如くは、昔の風俗の  
影を写したるものなり  
其の趣意を、今に傳へ  
しむるは、亦た其の  
一也



此の如くは、昔の風俗の  
影を写したるものなり  
其の趣意を、今に傳へ  
しむるは、亦た其の  
一也



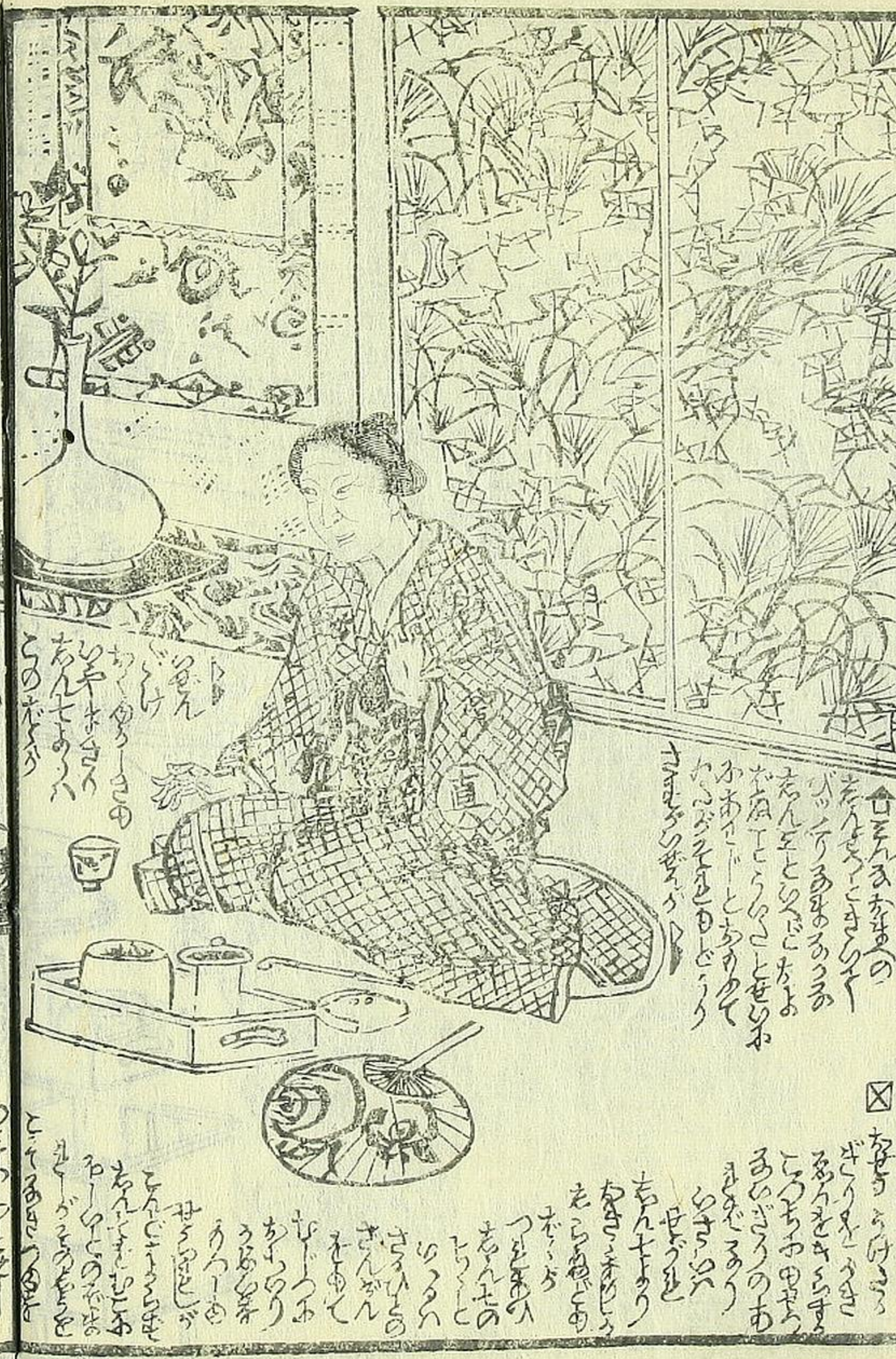
此の如くは、昔の風俗の  
影を写したるものなり  
其の趣意を、今に傳へ  
しむるは、亦た其の  
一也











合まぬきまぬきの  
まなまきまきまき  
ひんひんひんひんひん  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき

まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき



まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき

まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき  
まなまきまきまき



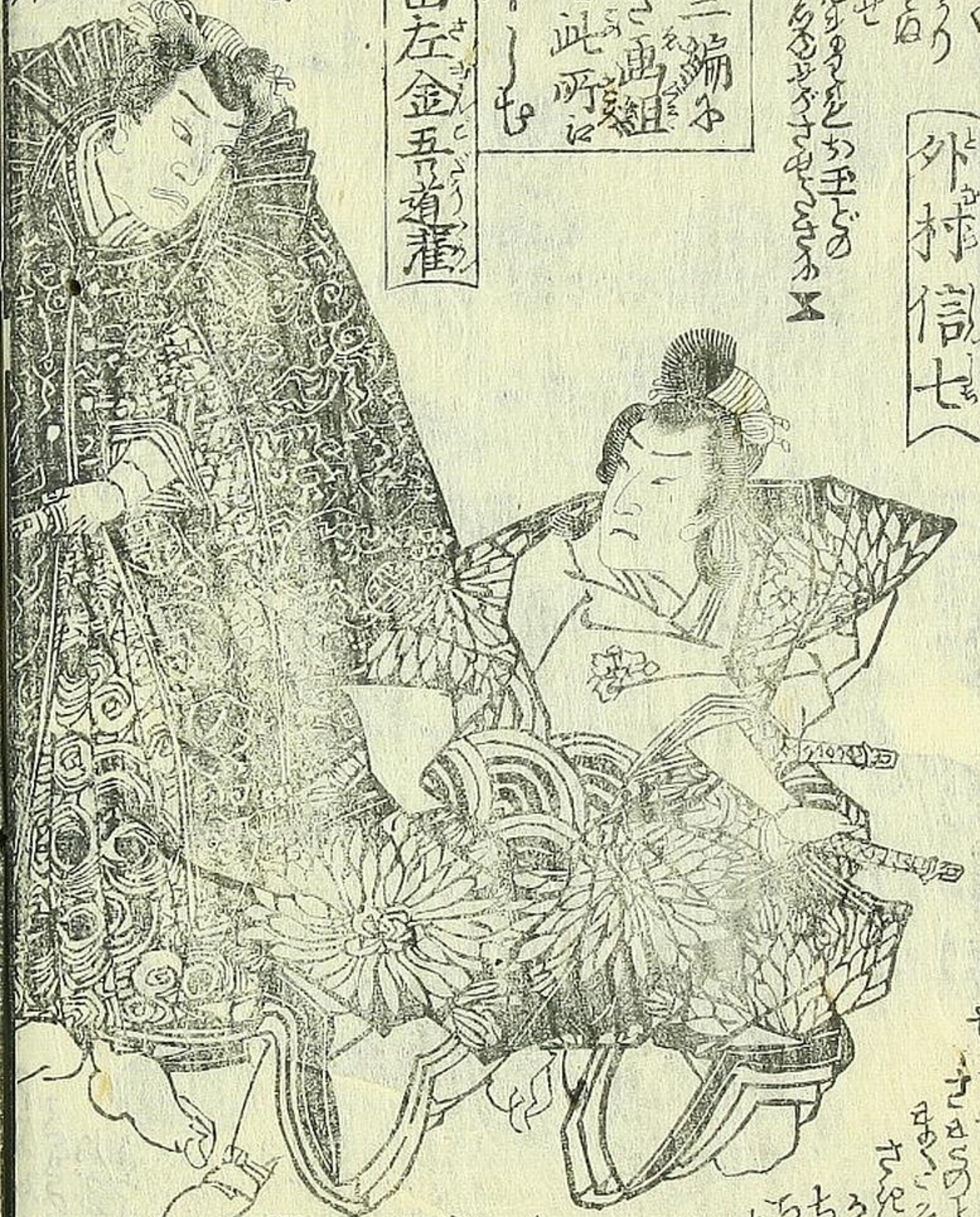
外村信七

この世は... 母の世を...

這ハ三編ハ... 引舉し七

太田左金五道灌

松平の... 太田左金五道灌



母の世を... 太田左金五道灌

世のひと... 掃守雷蔵



掃守雷蔵

母の世を... 掃守雷蔵

010190519029

明治七年甲戌陽春開板標目

厚化粧萬年鳩田

編 春水作  
編 國貞画

新島九尾傳

十三年 春水作  
出板 國貞画

室町源氏胡蝶卷

井三 種彦作  
出板 國貞画

筆海四國聞書

十三 種彦作  
出板 國貞画

鼠祠通夜譚

八編 種彦作  
出板 國貞画

明鶴墨画無補稿

十五 種彦作  
出板 國貞画

童謡妙々車

二十五 種彦作  
出板 國貞画

花封巻玉章

十編 種彦作  
出板 國貞画

薄佛幼日記

井迫 春水作  
出板 國貞画

八犬傳大の衣紙

五十二 柳亭作  
出板 國貞画

七幼半葛飾譚

十追 種彦作  
出板 國貞画

南傳馬町畫

葛屋 吉藏板



か玉が乳人  
おきよ

山々字のり人作  
秀蝶橋を國画

けんりまの  
あけをよ  
世のりあけ  
才三べんか  
とまをよ  
第三編引つぎ  
出板 種彦作  
柳亭のり  
帝十作  
板元夜白

所撰形

二十

